

状態の良いカマドが検出されました！（新田遺跡第6次調査）

令和6年10月28日（月）～12月13日（金）までの間、新田遺跡第6次発掘調査を行いました。



調査区 全景



第2号竪穴建物跡 遺物出土状況

新田遺跡は、深谷市岡地内に所在する遺跡です。過去の調査では、竪穴建物跡や掘立柱建物跡、井戸跡などが確認され、土師器・須恵器片が出土しています。

本調査では、竪穴建物跡4軒、土坑1基、掘立柱建物跡3基が検出されました。竪穴建物跡は比較的残存状態が良く、土師器・須恵器などの遺物が多数出土しました。また、第3号竪穴建物跡のカマドはよく使いこまれており、火を受けた壁面が赤く焼土化していました。出土遺物などの特徴を踏まえると、この竪穴建物は9世紀～10世紀頃の遺構と考えられます。



第3号竪穴建物跡 カマド検出状況



調査風景